

関係各位

2019年10月28日
大鵬薬品工業株式会社

大鵬薬品の温室効果ガス削減目標が 「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得

大鵬薬品工業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小林将之、以下「大鵬薬品」)は、当社の掲げる温室効果ガス削減目標について、Science Based Targets (SBT) イニシアチブから認定を取得しました。



SBT イニシアチブとは、国際 NGO の CDP、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、世界資源研究所(WRI)、世界自然保護基金(WWF)による国際的な共同イニシアチブで、パリ協定が目指す世界の平均気温上昇「2℃未満」の達成に向け、科学的根拠に基づく削減シナリオと整合した企業の CO₂ 排出削減目標を認定しています。

詳細についてはこちら <https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/> をご覧ください。

今回、認定された目標は以下の通りです。

◆当社の CO₂ 削減目標

- ・ 2030 年までに温室効果ガスの排出量(スコープ 1+2)を 2017 年比で 30%削減
- ・ 2030 年までに温室効果ガスの排出量(スコープ 3)を 2017 年比で 20%削減
 - スコープ 1 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出
 - スコープ 2 自社が購入した電気・熱の使用に伴うエネルギー起源の間接排出
 - スコープ 3 そのほかの間接排出

大鵬薬品ではこの新たな目標の達成に向けて、エネルギー利用の最適化や再生可能エネルギーの導入などを実施し、引き続きバリューチェーン全体での温室効果ガス削減を推進し、持続可能な社会の実現への貢献を目指します。